

カーボンニュートラルへの挑戦 <②>



公共交通から不動産まで～総合的な気候変動対応

NANKAI、南海電気鉄道（大阪市）

NANKAIグループは、気候変動リスクを最大のリスクの一つと捉え、2050年のカーボンニュートラル達成に向けて積極的に取り組む。

30年度のCO₂排出量13年度比46%以上削減を目標に掲げており、24年度は基準年度比27.4%の削減を達成した。

鉄道事業では、省エネ車両の導入により電力使用量の削減を進めている。

26年4月に運行開始した新観光列車「GRAN 天空」や特急ラピートが、100%再生可能エネルギーで走行しているほか、燃料電池バスや電気バスも導入。なんばパークス、なんばスカイオや通天閣などで使用する全電力にも再生可能エネルギーを導入している。

同社サステナビリティ推進部の松本充弘課長は、「鉄道のCO₂排出量は自家用車の約1/7。旅客輸送におけるカーボンニュートラル社会の構築に向け、取り組みを強化していきたい」と意気込む。

（大阪商工会議所）

詳細はこちら▶

